

取扱説明書

バッテリー内蔵 TA2C-NF8
バッテリーレス TA2C-NF8BL

目次

A. はじめに	……1C
セット内容	
本説明書について	
関連文書	
本機の特徴	……1R
高温環境の使用	
各部の名称と機能	……2L
B. 基本操作	……2C
AC 電源の接続 / 充電	
電源 ON/OFF	
画面 ON/OFF	……2R
画面の遷移	
スクリーンショット	
C. NFC の利用	……3L
利用可能な NFC 規格	
NFC カードの読取り位置	
NFC オプティマイザー	……3C
D. 独自機能・各種設定	……4L
(下記は紹介機能の一部です)	
キオスクモード関連	
AC 連動電源設定	
タイマー設定	
画面・LED OFF	
タッチパネル感度設定	
Web ページ自動表示	
バッテリー保護モード	……5L
HDMI・キャスト関連	
その他詳細設定	
バージョンアップ	
開発者向けオプション	……5L
ログ送信・初期化	……5C
E. その他	……5L
製品のお手入れ	
公的規制等	……5C
仕様・その他	……5R

A はじめに

セット内容

— ご使用開始前にご確認ください —

- 本体
- ACアダプター (DC5.0V 3A)
- ダウンロードガイド

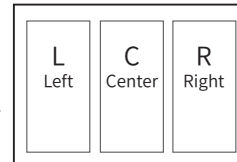
本説明書について

— 予めご了承ください —

- 本機は業務用機器のため、本書はシステムインテグレーター (Sier) または PC やスマートフォンの基本操作に慣れている方を前提として、手順や設定方法の概要がわかる程度の記載となっています。システムに不慣れな方が実施すると製品の動作に重大な影響を与える設定もありますので、十分ご注意ください。
- **本書にありますバッテリーに関する記述は、バッテリーレスモデルには適用されません。**

本書のページ構成

各ページは3ブロックで構成し、LCR で表記しています。1R は1ページ目の右列を意味します。



関連文書

— ダウンロードのお願い —

本書および関連文書の記載内容に反した使用による不具合は、保証期間内であっても有料修理となる場合があります。使用前によくお読みいただき、必要なときすぐにご覧になれるよう以下の URL 内のリンクから各関連文書をダウンロードのうえお手元に保管してください。

製品サポートTOPページ <https://ods.co.jp/support/top.html>

- 安全上・使用上のご注意
- 本書 (取扱説明書)
- 製品仕様書 (寸法図 各種ドライバ)
- 修理・保証規約
- サポートガイド 他



本機の保証期間、補修用性能部品の保有期間 (製品の修理対応期間)、本機に含まれる有寿命部品や消耗品の品目など、修理にとって重要な情報は「製品仕様書」の記載をご確認ください。

- 有寿命部品や消耗品の部品交換は、保証期間内・外にかかわらず有料です。
- 修理期間完了間近および完了済の製品は、上記製品サポートTOPページからリンクしている「製品別情報」にてご確認ください。

本機の特長

- ◆ **NFC/ICカードリーダー内蔵 Felica Mクラス対応タブレット**
交通系や電子マネーのFelicaや銀行系や行政系のType-Bにも対応しています。
- ◆ **専用アプリ「NFCオプティマイザー」搭載**
タブレットの運用に関するスタッフ業務をNFCで簡素化できるアプリを用意しました。
- ◆ **Android 13 (64bit) OS メインバージョン固定 / GMS準拠**
最新アプリへの対応やMDM (集中遠隔管理) への対応もしやすいGMS準拠です。
- ◆ **USB Type-A端子を2系統搭載**
物理的に大きなサイズの Type-A端子は周辺機器との安定した接続が可能です。
- ◆ **映像出力対応 (micro HDMI出力端子、MiraCast対応)**
本機の処理状況を外部の大型モニターで画面共有することが可能です。
- ◆ **大音量再生が可能な内蔵スピーカー (1Wx2 ステレオ)**
店頭や飲食店など、しっかりした音量でお知らせができます。前面防水 (IPx2相当) です。
- ◆ **バッテリー保護モード搭載 (AC常時給電モード)**
AC電源を接続したまま運用したい環境に適した設定で、過充電・過放電を防ぎます。
- ◆ **ログ取得モード搭載**
長期での複数台運用では避けて通れない不具合もログ取得で早期解決を図ります。
- ◆ **常時給電運用に適したタイマースケジュール機能搭載**
1日1回のレポートやLCDの夜間消灯など、実施時刻を曜日単位で設定できます。
- ◆ **AC給電に連動して製品をON/OFFできる、連動機能搭載**
プレーカーで電源を管理する店舗やオフィスなどに便利な機能です。
- ◆ **長寿命な800サイクルバッテリー**
フル充電800サイクル経過時でも、初期性能の80%以上の駆動時間を維持します。
- ◆ **組込み系や車載にも便利なバッテリーレスモデルをラインナップ**
バッテリー非搭載モデルが望まれるシーンでもご使用いただける兄弟機があります。
- ◆ **各種キitting作業やカスタムOS開発を国内でサポート**
お客様のご要望にきめ細かく迅速に対応できる、国内サポート体制です。

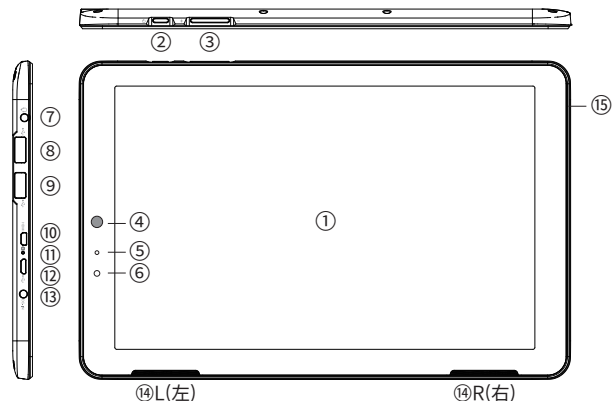
⚠高温環境での使用について

バッテリー内蔵モデル：保証の上限値は、周囲温度 35°C、湿度 85% 以下です。常にこの範囲内でご使用ください。

バッテリーレスモデル：通常保証の上限値は 45°C、85% 以下です。湿度 50% 以下、1 日数時間程度であれば、60°C までの環境でもご使用いただけます。(事前カスタマーセンターまでご相談ください)

⚠ 周囲温度 60°C 以上、温度 45°C 以上で湿度 50% 以上、直射日光下、熱源の近くや蒸気が発生する場所などでの使用は禁止しています。

また、周囲温度が約 50°C (内部温度 55°C) 以上ではカメラの動作が停止することがありますので、あらかじめご了承ください。



- ① ディスプレイ(画面)
10点マルチタッチ対応
- ② 電源ボタン
- ③ 音量ボタン (+/-)
- ④ Webカメラ(内側のみ)
- ⑤ 照度センサー
- ⑥ LEDランプ(☞次項参照)
- ⑦ ヘッドセット/ヘッドフォン端子
4極 CTIA規格(単体マイク不可)
- ⑧ USB端子1 (2.0 Type-A)
- ⑨ USB端子2 (2.0 Type-A)
- ⑩ microHDMI 出力端子
- ⑪ 内蔵マイク(モノラル)
- ⑫ USB端子3 (2.0 Micro-B)
- ⑬ 電源入力端子(DC IN)
- ⑭ 内蔵スピーカー(ステレオL/R)
- ⑮ セキュリティ・ロック・スロット
ケンジントン・セキュリティ・スロット規格

注意 本機の給電について

- Micro-B端子⑫は給電が可能ですが、当社製タブレット(TA2C-M8およびM8AC)付属のACアダプター、もしくはMagconn充電システムオプション以外は使用しないでください。また、Micro-B端子からの給電では、本機付属のACアダプターで充電する場合に比べ充電時間が長くなりますのでご了承ください。
- バッテリーレスモデルではMicro-B端子⑫からの給電は推奨していません。
- 本機に接続している外部USB機器の総和が過大な場合、ACアダプターを接続していてもバッテリー残量が減少したり、動作速度が遅くなることがあります。このような場合、またはバッテリーレスモデルでUSB機器を接続したい場合は、セルフパワー型USBハブを介して外部USB機器を接続することをお勧めします。

上記 ⑥ LEDランプの状態表示について

点灯/点滅/消灯によって以下の動作状態を表します。

- 赤 点灯 : 充電中(本機の電源はON/OFF無関係)
- 緑 点灯 : 非充電中かつ電源ON
- 黒(消灯) : 非充電中かつ電源OFF
- 緑 点滅 : バッテリー保護モードON
かつAC非接続時かつ電源ON

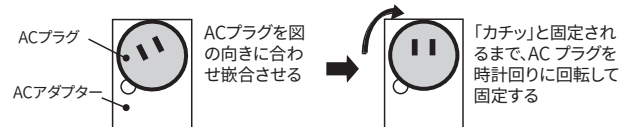
※ 非充電中とは : 満充電 または AC非接続時のいずれかの状態
電源ON とは : 画面OFFの状態を含む(☞「画面のON/OFF」参照)

バッテリーレスモデルでは 電源ON時●点灯、その他は消灯です。

B 基本操作

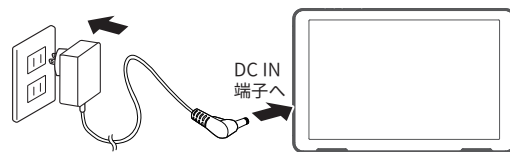
AC電源の接続 / 充電

① ACアダプターにACプラグを装着する



② 壁コンセントなど適切な電源に接続する

(☞「E:その他」>「設置、使用環境」参照)



- 💡 はじめてお使いになるときや充電残量が少ないときは、30分以上充電をおこなってください。
- 💡 充電残量が0%のまま長期間使用されなかった場合は、充電時間が通常時よりも大幅に長くなる場合があります。
- 💡 オプションのMagconn充電システムもご使用いただけます。

店舗などに最適な自立型の充電クレードルとジャケットのシステムです。USB Micro-B端子での充電のため、付属のACアダプターを直接つなぐ場合より充電時間が長くなります。
※バッテリーレスモデルでは、当システムの利用は推奨していません。



電源のON / OFF

- 電源 ON**
電源ボタンを1秒以上長押しして指を離す
- 電源 OFF**
電源ボタンを1秒押し、表示された電源メニューにて「電源を切る」をタップする



電源 OFF時はクイック設定パネル(☞「画面の遷移」参照)からも電源メニューにアクセスできます。

強制電源 OFF

- 電源ボタンを10秒以上押し続ける
通常稼働時には常用せず、本機がフリーズした場合などやむを得ないとき以外は実施しないでください。

💡 本機は24時間連続稼働を前提とした設計になっておりません。最低限1日1回は電源OFFまたは再起動をおこなってください。不用データ(garbage)の蓄積を防止し、パフォーマンスの低下を防ぎます。

画面のON / OFF

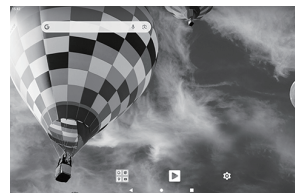
画面 ON/OFF

電源ボタンをカチッと短押しする
ボタンを押すたびに画面のON/OFFを繰り返します。
画面 OFFの間に画面タッチ*をしても画面ONにできます。

* 画面 OFFからの復帰方法は設定で選択することもできます。
※最後の操作から一定時間経過後にディスプレイを消灯する機能は「画面自動消灯」です。(☞「D:独自機能・便利な機能など」参照)

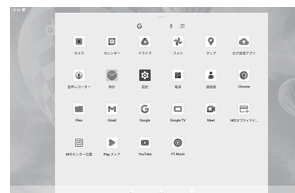
画面の遷移

【ホーム画面】



- システムバー ◀ ● ■
- ◀ バックボタン
ひとつ前の画面(ページ)に戻る
- ホームボタン
「ホーム画面」に戻る
- 履歴ボタン
アプリや設定などの利用履歴を表示する

【アプリ画面】

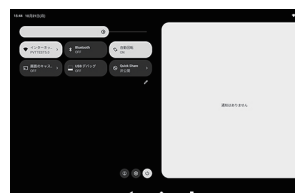


「ホーム画面」で下から上にスワイプ



●で「ホーム画面」に戻ります

【クイック設定パネル】



「ホーム画面」で上から下にスワイプ



●で「ホーム画面」に戻ります

・通知内容は、右から左フリックすると消去できます。

スクリーンショット

手順

- ① 電源ボタン と 音量マイナス (-) ボタンを同時押しする
- ② 色味を選択して、保存をタップする

保存先

Pictures > Screenshots

C NFCの利用

ご利用可能なNFC規格

■本機で読み取り可能な NFC 規格とその主な用途

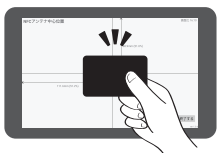
種類	日本国内での主な用途
Type-A (Mifare)	キャッシュカード、クレジットカード、Taspo、汎用 NFC タグ など
Type-B	マイナンバーカード、住基カード、運転免許証、パスポート など
Type-F (Felica)	交通系 IC カード (Suica、PASMO など) 電子マネーカード ※M クラス取得 (決済用端末推奨クラス)
Type-V	流通用 NFC タグ、遠距離 NFC タグ など

本機では行政系のマイナンバーカードなどに対応しており、本人確認やマイナンバー保険証などへの対応が可能です。

また、銀行系のクレジットカードや Felica への対応、また通常のタブレット同様、カメラ(前面のみ)も搭載しているため、QRコードやバーコード決済も含め柔軟な決済システムを本機1台で実現することができます。

通常は小型サイネージとして運用するような、ご来店のお客様が NFC 機能を使わないような用途であっても、タブレットのメンテナンスのために従業員様が日常的に実施する作業をしやすくするようなアプリ(後述「NFC オプティマイザー」)も搭載しており、日々の運用を支援します。

NFCカードの読み取り位置



本機のカード読み取り位置はスマートフォンとは違い、画面側のほぼ中央にあります。

NFC アンテナの正確な中心位置は、プリセットアプリ「NFC センター位置」で座標をご確認いただけます。

オリジナルアプリや販促用ステッカーなどを作成する際にご参照ください。製品本体を含む寸法は、当社 Web 内の寸法図にてご確認くださいませ。



マイナンバーカードの読み取りにも

～ 拡張 APDU (Application protocol Data Unit) をサポート ～



決済端末にも

～ Felica M クラス対応 ～



当社製独自アプリ

※特許出願中

NFC オプティマイザー

お手持ちの NFC カードなどを用いて、本機の管理を行うことができ、大きく3種類の機能があります。

- ① プリセット機能
- ② グループ作成による、他のアプリとの連携機能
- ③ NFC カードのデータベースとしての活用

本アプリで利用可能なNFC規格

Type-A (Mifare)、Type-F (Felica)、Type-V がご利用可能です。

Type-B はご使用になれません。

管理専用の NFC カードを新規でご用意される場合は、本タブレットご購入時の担当営業までご相談いただけますと、動作検証済の推奨カードをご案内可能です。(Type-A/F/V 選択可能)

① プリセット機能

本機能は、業務用タブレットを運用する現場で日常的によく使われる機能を、NFC カードをタッチするだけで実行できるようにしています。

以下の項目の中から、1枚のカードに1つの機能を登録できます。

- ・タブレットの電源 OFF
- ・タブレットの再起動
- ・システムバー ON/OFF (KIOSK 端末化とその解除)
- ・USB TYPE A ポート ON/OFF
- ・タッチパネル ON/OFF
- ・ディスプレイ ON/OFF



本機能は NFC カードへの登録だけで実行でき、お客様のアプリへの仕込み等は不要です。

運用時は、お客様のアプリを通常通りに起動してください。

本アプリは、NFC カードが検知されると OS からの通知を受け、登録済みのカードであるかを識別し、上記で登録された機能を発動します。

② グループ作成による他のアプリとの連携

グループ機能は、NFC カードによりお客様がワンタッチで実行させたい動作を補助する設定です。グループは「A～Z」を用意しています。

クライアントアプリには、読み取ったグループに応じた動作を連携させるためのソフトを埋め込む必要があります。

使用例：飲食店のオーダー端末

グループ機能にて

店長用は グループ “A”
スタッフ用は グループ “B”
とカードを登録します。

クライアントアプリには

“A” なら売上管理画面へ
“B” なら一般管理画面へ
という処理を仕込みます。

現場ではカードタッチのみで
各々の機能が実行できます。



①プリセット機能と②グループ機能を両方登録することで、より有機的な機能を実現させることも可能です。

アプリ連携について詳しくお知りになりたい方は、下記の URL をご確認ください。

https://biz.ods.co.jp/page/app_nfc-optimizer
技術資料の請求も上記 URL 内にリンクがあります。

③ NFCカードのデータベース(DB)としての活用

本アプリで実行可能な機能の登録、またはグループ作成のために登録した NFC カードを、一覧にて表示させることができます。

スタッフの異動などに伴う登録情報の変更なども簡単に実施できます。

登録情報は、アプリの設定画面より json 形式のファイルでインポート / アウトプットができますので、他の端末とカードの登録情報の共有などにもご活用いただけます。

入退室管理、勤怠管理にも

～ 前面カメラによるバーコードなどの読み取りとの組合せも可能 ～



D 独自機能・各種設定

※各種設定後に設定値が反映されない場合は、製品を再起動してください。

本項では、業務用タブレットに便利な当社の独自機能や Android の標準機能の中でよく使われる機能、当社の独自機能と間違われやすい機能などに特化して抜粋記載をしています。すべて「**アプリ画面**」→「**設定**」の**次の手順からの記載となります**。

Android OS や OS 搭載機能などの詳細については、Android 公式ページなどからご確認ください。 https://www.android.com/intl/ja_jp/android-13/

	機能概略	設定箇所	補足説明	デフォルト設定
当社独自機能	システムバー非表示化 (キオスクモード化)	「オーディーエスオプション」→ 「システムバー非表示」→ ※その後の手順は非公開です。	本機の機能を制限し、特定の用途にのみ利用できるようにキオスク(KIOSK)モード化することができます。 ※当該設定をおこなうと、その他の用途での使用や各種設定ができなくなりますので、詳細な手順は非公開にしています。 詳細をお知りになりたい場合は担当カスタマーセンターまでお問い合わせください。 ※「システム」→「ジェスチャー」→(中略)→「システムバーを非表示にする」ではキオスク化はできず、別の機能です。	無効
	システムバー非表示化 (キオスクモード化)の 一時解除	「ホーム画面」→任意の場所を同時4点タッチ (6秒間)→システムバー非表示化の際に設定した 暗証番号を入力	上記の設定にて「システムバー非表示」を有効化し、キオスク(KIOSK)モード化させた端末で、設定などを変更したいとき、 一時的にキオスクモードを解除させることができます。所望の操作終了後に再度キオスクモードに復帰させる場合は、 製品を再起動してください。	---
	システムバー非表示化 (キオスクモード化) 一時解除からの簡単復帰	「ホーム画面」上部からスワイプ→ 「クイック設定パネル」→「システムバー非表示」 アイコンでONに設定	「システムバー非表示化」(キオスクモード化)を実施された端末で、メンテナンスなどの理由で「システムバー非表示化の 一時解除」を実行し、再度キオスクモードに復帰させたい場合、「クイック設定画面」内の「システムバー非表示」のアイコン をタップするだけで簡単に復帰することができるようになりました。(従来は、電源の再起動が必須でした) ※「システムバー非表示化」を設定すると、「クイック設定画面」内に「システムバー非表示」のアイコンが追加されます。	無効
	AC連動電源ON	「オーディーエスオプション」→ 「ACアダプター接続時自動電源ON機能」	AC電源に接続されている時は、常に本機の電源がONになる機能です。 電源プレーカーなどで一斉に電源を入れるような運用をしている現場に便利です。 ※ AC電源が供給されている間は、本機の電源を手動でOFFにしても、再度自動的に電源がONになります。	無効
	AC連動電源OFF ※NF8BL非対応	「オーディーエスオプション」→ 「ACアダプター切断時自動シャットダウン機能」	AC電源が切断された瞬間を検知し、自動で本機がシャットダウンする機能です。AC電源切断後、15秒から30分の間で、 段階的に設定できます。 電源プレーカーなどで一斉に電源を切るような運用をしている現場では最短の15秒に設定すると便利です。停電などで AC電源が不安定な状態を回避したい場合や、短時間はモバイル端末としてバッテリー運用したい場合は、長めの時間を 設定します。※ AC電源が切断されている状態で本機の電源を手動でONにした場合、設定した所定時間が経過しても 電源はONのままになります。	無効
	タイマー設定	「オーディーエスオプション」→ 「タイマー設定」	電源の再起動や電源OFF、LCD ON/OFF の時刻を曜日単位でスケジュール化することができます。常時給電運用では 1日1回のレポートを実施したり、休業前日には電源OFFする、夜間はLCDを消灯するなど、細やかな設定が可能です。 ※ OSの制約上、電源OFFの状態から自動で電源をONにすることはできず、手動での電源操作が必要になりますので、 電源OFFタイマーの有効化にはご注意ください。	REBOOT POWER OFF LCD OFF LCD ON すべて 無効
	LED OFFモード	「オーディーエスオプション」→「LEDオフ」	電源の状態を示すLEDランプの動作を止め、常に消灯の状態で使用することができます。ホテルのベッドサイド端末など、 できるだけ光源を減らして運用したい環境などの場合に、本設定を有効化してください。	無効
	タッチパネル感度調整	「オーディーエスオプション」→ 「タッチパネル感度調整」	乾燥した環境や手袋をはめた状態での操作が多くタッチパネルが反応しにくいなどと感じた場合は、「高感度」の設定 をお試しください。ただし指以外の周辺のケーブルなどにも反応することがあります。	標準
	スリープを画面OFFに	「オーディーエスオプション」→ 「スリープを画面消灯に変更」	Android の Sleep 機能は低消費電力モードになるため、一部のアプリの動作を停止したり、またSleep中のアラームや 通知により動作や画面表示が復帰したり、常時表示設定のガジェット画面は表示し続ける場合があります。 画面OFF は、画面は常に消灯したまま、アプリの動作は継続します。 ご利用環境に応じて、動作状態を選択してください。	無効
	画面OFFからの 復帰方法設定	「オーディーエスオプション」→ 「画面消灯からの復帰操作」	画面自動消灯の設定時間経過後や、電源ボタンの短押しで画面が消灯した後、画面を復帰させる方法を選択できます。 「電源ボタンだけ」または「画面タップだけ」と、操作を限定したい場合に本設定をご使用ください。	画面タップ または 電源ボタン
	画面自動OFF	「ディスプレイ」→「画面消灯」	最後の操作から一定時間が経過すると、自動で画面を消灯します。宿泊施設などに便利な設定です。 15秒から30分の間で、段階的に設定できます。前頁「画面OFFからの復帰方法」で設定した操作で、表示が元に戻ります。	起動しない
Webページ自動表示	「オーディーエスオプション」→「電源ON時ブラウ ザ自動起動」→機能の有効化→URL入力	起動時に特定のURLを表示し、サイネージとして利用したり、ブラウザ上での操作を促したい場合に便利な機能です。 デフォルトに設定しているブラウザのみを起動し、URLはブラウザのホームページ設定で指定する方法と、本設定内で URLを指定する方法が選べます。Wi-Fiの接続に時間がかかる環境では、ブラウザ立上げまでの時間調整も可能です。	無効	

	機能名称	設定箇所	補足説明	デフォルト設定
独自機能	バッテリー保護モード (AC常時給電モード) ※NF8BL非対応	「バッテリー」→「バッテリー保護モード」	AC電源を接続したまま運用したい環境に適した設定です。過充電・過放電を防ぎ、バッテリーに優しい領域で運用します。バッテリーが75%に達したら充電を停止し、使用などにより残量が50%未満まで減ると自動で充電を再開します。AC電源が非接続の状態、残量が30%を切ると、自動でシャットダウンさせることも可能です。 ※「バッテリー」→「バッテリーセーバー」は、本機独自のバッテリー保護モードとは別の機能です。	無効
その他 便利な機能・各種設定	Google検索バー非表示化	「ホーム画面」→「Google検索バー」長押し→表示された「×削除」のアイコンにドラッグ&ドロップ	一度削除した「Google検索バー」を復帰させたい時は、以下の手順を実行してください。 「ホーム画面」上の任意の一角を長押し→「ウィジェット」→「Google」→表示された「検索」のバーを長押し→表示させたい場所にドラッグ ※お好みで検索バーの長さを変更することも可能です。	表示 (ホーム画面左上)
	HDMI出力解像度	「ディスプレイ」→「HDMI設定」 →「HDMI」および「HDMI解像度」	本機のHDMI出力端子の使用の有無と、その解像度を変更できます。接続するモニターの仕様に合わせて 720p@60Hz, 1080p@30Hz, 1080p@60Hz から選択できます。※ Miracast使用時には、HDMI出力は無効になります。	HDMI：有効 1080p@60Hz
	映像のキャスト設定	「デバイスの接続」→「接続の設定」→「キャスト」 →「：(ケバブメニュー)」	Miracast機能により本機の画面をテレビ等の外部ディスプレイにワイヤレスで表示できます。 ご利用にはMiracastレシーバー(別売)が必要です。 デバイスを検知させる前に、右上の「：」から「ワイヤレスディスプレイの有効化」をタップして有効にします。 ※キャスト機能を解除し、HDMI出力に切替えるには、「：」から「ワイヤレスディスプレイの有効化」のチェックを外し、「ディスプレイ」→「HDMI設定」に進み、HDMIをONにしてください。	無効 (有効化していない)
	ログ取得モード	「オーディオオプション」→「ログ取りモード」	使用中に何らかの不具合が発生した場合に取得するログの種類を増やすなど、詳細設定が可能です。	Mobile Log のみ有効
	ログ容量最大サイズ	「オーディオオプション」→ 「最大ログ保存容量」	上記のログ取得に使用するメモリーの最大値を、4GBと16GBから選択できます。ログデータが最大値を超えた場合、古いデータから順に破棄されますので、長期のログを保持したい場合は設定値を変更してください。	4GB
	IP通信確認モニター	「オーディオオプション」→ 「IP通信確認モニター」	ゲートウェイまたはDNSサーバーへの通信状況をモニターします。エラーの場合はネットワークを切断します。Intranet や LAN 接続時に誤検知が頻発するような場合を除き、通常は有効の状態のままご使用ください。	有効
	USB デバッグモード	「オーディオオプション」→「USBデバッグ」	通常、開発者向けオプション内にある設定です。通常使用時は、本設定は無効の状態でご使用ください。	無効
参考情報	Bluetooth AVRCPバージョン	「システム」→「開発者向けオプション」→ 「Bluetooth AVRCP バージョン」	AVRCP バージョンを1.3から1.6まで選択することができます。最新のBluetooth機器との接続で所望の動作を得られないときなどに設定をご確認ください。 ※他にも「オーディオコーデック」などの詳細設定項目がありますが、OS依存の機能であり、当社ではすべての項目について、動作やバージョン間の互換性を検証・保証しているわけではありません。	AVRCP 1.5
	ソフトウェアバージョン(ビルド番号)の確認	「タブレット情報」→「ビルド番号」	ビルド番号は「 ODS-STANDARD_(機種名)_(バージョン番号) 」で表現されています。 バージョンは末尾の数字をご確認ください。 上記以外の表記の場合はカスタムOSがインストールされていますので、本書の表記とは動作が異なる場合があります。	---
	ソフトウェアの最新バージョンの有無の確認	「タブレット情報」→「ソフトウェア更新」→ 「アップデートバージョンを確認」 ※Wi-Fiが有効化されていること	「ソフトウェア更新」にて「アップデートはありません」と表示された場合であっても、最新バージョンが提供されていることがあります。「アップデートバージョンを確認」まで進み、最新バージョンが表示されたときは、そのままダウンロードにより更新できます。 複数台をまとめてアップデートするような場合、Wi-Fi環境によってはかなりの時間を要することもありますので、巻末のカスタマーセンターまでご相談いただければ、その他の方法もご案内可能です。	---

開発者向けオプションについて

「開発者向けオプション」はAndroidの隠しメニューであり、有効化は担当者様の責任において実施してください。

有効化の手順は当社では非公開です。

有効化を実施しないと、当オプションメニューは表示されません。「開発者向けオプション」にて何らかの設定をした後、「開発者向けオプションの使用」のスライドバー設定を無効にしても、メニューが非表示化されるだけで、以前に設定した設定値は保存されています。

オプション内のすべての設定を無効化する場合は、設定した各項目を一項目ずつすべて元に戻す必要があります。また、当機能を表示すると、他の設定項目の選択肢に違いが現れる場合があります。

ログの送信について

本機には、不具合発生時の解析を効率化するためのログ取得モードを搭載しています。当社に解析を依頼する際には、プリインストール済の

 **ログ送信アプリ** をご利用ください。

Wi-Fiの環境によりますが、送信には数時間を要することがあります。

初期化(工場出荷状態へのリセット)

初期化は、本機の復旧を目的として本機内の各種設定や記憶媒体をすべて消去し、工場出荷時状態に戻します。システムの不具合の原因を特定するためのログデータも消去されるため、やむを得ないとき以外には実施しないでください。

手順

- ① 電源以外のすべての外部機器を取り外す
- ② 「設定」→「システム」→「リセットオプション」
→「全データを消去(出荷時リセット)」→「すべてのデータを消去」
※処理が完了するまで、数分かかる場合があります。

E その他

本機のお手入れ・メンテナンス

タブレット PC は、使用方法や使用環境、メンテナンスの状況によって、製品寿命や動作性能に大きく違いが出てくる場合があります。本書ならびに「安全上・使用上のご注意」や「製品仕様書」の記載事項に従ったご使用と、適切なメンテナンスを実施してください。

設置、使用環境

◆ 使用および保管時の環境温度/湿度を守る

本機には高速で動作する CPU や電源回路（内蔵バッテリーを含む）を搭載しており、製品全体で放熱をしています。製品仕様書にある環境温度 / 湿度をお守りいただき、かつ通気の良い熱が籠らない環境でご使用ください。パフォーマンスの低下や製品の短寿命化を防止することにつながります。

◆ 電源は 交流 100V (50/60Hz) の壁コンセントを使用する

◆ 延長コードや拡張タップの電流量には十分注意する

◆ ACアダプターや電源ケーブルは製品の付属品を使用する

「IT 機器対応」として販売されている発動発電機や非常用バッテリー、AC アダプターなどであっても、電源の波形品質や予期せぬ電流制限などにより、正しく充電できないだけでなく、本機の電源回路の故障やバッテリーの短寿命化の原因になります。本機付属品と壁コンセントにてご使用ください。また電源の延長コードや拡張タップ、壁コンセントやブレーカーの電流量にも十分ご注意ください。店舗等で複数台のタブレットを同時に充電する際、発煙、発火、火災、故障が発生する恐れがあります。

毎日のメンテナンス

◆ 1日1回は電源OFFまたは再起動をする

本機は 24 時間連続稼働を前提とした設計ではありません。再起動時に不用データ (garbage) を削除するため、パフォーマンスの低下防止になります。

◆ バッテリー残量がゼロになる前に補充電をする

残量ゼロの過放電状態はバッテリーの短寿命化の原因になりますが、長期間充電し続けることもバッテリーへの負荷を高めますのでご注意ください。

定期的なメンテナンス

◆ 本機に保存したデータなどは定期的にバックアップを取る

お客様が保存したデータ類の不具合や消失は当社の保証対象外です。

◆ バッテリーでの稼働時間や充電に掛かる時間をチェックする

◆ バッテリーに膨張や異常発熱がないか確認する

◆ バッテリー残量がゼロ（過放電）の状態でも長期放置しない

バッテリーによる本機の稼働時間が初期性能の 50% 以下にまで低下した時点が、バッテリーの交換時期（寿命）です。同稼働時間が 30% 以下にまで低下している場合、膨張や異常発熱が認められる場合、充電が進まなくなった場合は製品の使用を中止し、当社カスタマーセンターへバッテリー交換を依頼してください。（バッテリーの交換は保証期間内・外にかかわらず有料です）製品を使用せず長期保管する際は、保管前と保管後約 3 ヶ月ごとに 55 ~ 75% 程度まで補充電することをお勧めします。

製品のお掃除

◆ 軽い汚れにはよく絞ったマイクロファイバークロスなどを使用する

◆ 消毒には製品仕様書に耐薬性が記載されている薬剤を使用する

◆ 有機溶剤が含まれた化学ぞうきんなどは使用しない

お掃除前には誤動作防止のため本機の電源を OFF にすることをお勧めします。日々のクレンジングでは、柔らかい布に水や薄めの中性洗剤を軽く含ませ、固く絞ってからご使用ください。可燃性ガスを含むエアダスター、シンナーやベンジン、化学ぞうきんなどの有機溶剤が含まれているものは、さまざまな事故や不具合の原因となりますのでご使用をお控えください。

公的規制認証など

■ 認証取得証明の表示について

本機では、各国および地域や団体が定める規格の認証取得証明を、電子表示している場合があります。製品本体や本書に認証マークがない場合、下記の手順でご確認ください。

アプリ画面 → 「設定」 → 「認証」

■ How to Confirm the Certification Marks

This device may electronically display certification and approval marks in accordance with the safety regulations and standards set by various countries, regions, or organizations. If the product itself or this manual does not bear any certification and approval marks, you can confirm those information by following the below steps;

App Drawer → "Settings" → "Certification"

■ 電波法、電気通信事業法、高周波利用設備について

本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マーク」を掲載しております。

また、高周波利用設備として認可を受け、「総務省指定マーク」を取得し、お客様は本機の設備申請をせずにご利用いただけます。

各マークは以下の手順にて、本機の設定画面内よりご確認ください。

アプリ画面 → 「設定」 → 「認証」

本機内部の改造をおこなった場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

■ 無線LANおよびBluetoothワイヤレステクノロジーについて

2.4GHz帯無線LAN / Bluetoothワイヤレステクノロジー

本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の多くの無線機器にも同じ周波数が使われています。他機器との電波干渉を防止するため、「使用上のご注意」に記載された「電波・無線LAN・Bluetoothに関するご注意」も併せてご確認ください。

2.4 DS/OF 4

〈2.4GHz帯無線LAN〉 本機は、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS変調方式/OFDM変調方式の無線装置で、与干渉距離が40mであることを示しています。
※ 使用できるチャンネル (ch) は、1ch~13chです。

2.4 FH 4

〈Bluetoothワイヤレステクノロジー〉 本機は、2.4GHz周波数帯を使用するFHSS変調方式の無線装置で、与干渉距離が40mであることを示しています。

※ 送信出力はPower Class1で通信範囲は見通し距離約10mです。

5GHz帯無線LAN 本機は5GHz帯無線LANを内蔵しています。

IEEE802.11a/n/ac

使用可能チャンネル(ch)一覧

W52: 36ch, 40ch, 44ch, 48ch

W53: 52ch, 56ch, 60ch, 64ch

W56: 100ch, 104ch, 108ch, 112ch, 116ch, 120ch, 124ch, 128ch, 132ch, 136ch, 140ch

※ W52とW53は、電波法によりご利用が屋内に限定されています。

■ 電磁妨害ノイズや静電気などへの耐性基準について

この装置はCISPR35(マルチメディア機器の電磁両立性 一イミュニティ要求事項一)適合品です。 ※TA2C-NF8BLは未取得です。

■ 瞬時電圧低下について【バッテリー内蔵モデル】

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満たしております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。内蔵バッテリーの充電残量が不十分な場合、本規格の耐力（正常動作の継続時間）を満たしませんのでご注意ください。

■ 瞬時電圧低下について【バッテリーレスモデル】

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

■ 高調波電流規制について

JIS C 61000-3-2 適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■ 電波障害自主規制 (VCCI規格) について ※TA2C-NF8BLは未取得です。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書ならびに「使用上のご注意」に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B

仕様・その他

■ 仕様・スペックについて

本機の仕様・スペックおよび寸法図などは別文書となっています。

以下のURL内のリンクから各関連文書をご確認ください。

製品サポートTOPページ <https://ods.co.jp/support/top.html>

■ バッテリーサイクル (充電サイクル) について

充電サイクル表記は合計で100%になる充電*を何回実施すると、満充電時の容量が初期性能の80%まで落ちるか、という数値です。

*例: 0%から100%の充電で1回、20%から80%の充電では0.6回とカウントします。

詳細は「使用上のご注意」の記載をご確認ください。

製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。・本書を含む各種マニュアルの内容は、予告なく変更する場合があります。・本書で使用している画像等はイメージであり、製品とは異なる場合があります。・本書を含む各種マニュアルの内容について、ご不審な点や誤り等がありましたら、当社カスタマーセンターへご連絡ください。なお、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、各種マニュアルの記載内容にかかわらず当社はその責を負いません。・本製品に内蔵のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用許諾されます。・他社製周辺機器およびソフトウェアについては動作を保証するものではありませんので、各販売元にお確かめのうえご購入ください。・本製品に記録した著作物は、個人で楽しむもののほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。・本書を含む各種マニュアルの無断転載を禁じます。・[商標について] Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. USA の商標または登録商標です。日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnn IME を使用しています。iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2023 All Rights Reserved. ・FeliCaは、ソニー(株)が開発した非接触ICカードの技術方式で、ソニーグループ(株)またはその関連会社の登録商標または商標です。・Mifareは、NXPセミコンダクターズ社の登録商標です。・Suicaは、JR東日本の登録商標です。・PASMOは、(株)バスモの登録商標です。・QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。・その他の会社名、製品名、規格名は各社の商標もしくは登録商標です。・本書では®マーク、TMマークを省略しています。

©2024 ODS Corporation

オーディーエス株式会社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5

お問い合わせ先 カスタマーセンター

電話サポート窓口 ナビダイヤル 0570-001134

製品サポートTOPページ <https://ods.co.jp/support/top.html>

2024年10月

DCW216-01A